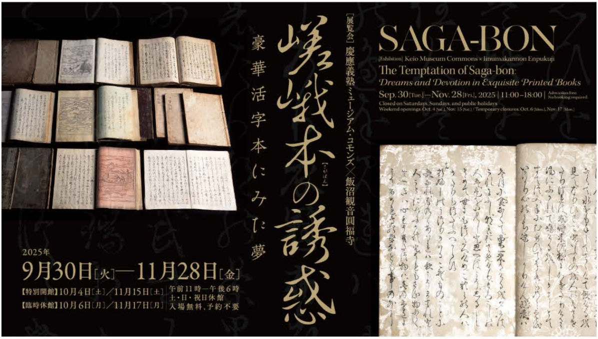
All campaigns

202510KeMCo

sent

View report

KeMCo


［展覧会］慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本【さがぼん】の誘惑
豪華活字本にみた夢
2025年
9月30日［火］—11月28日［金］
【特別開館】10月4日［土］／11月15日［土］
【臨時休館】10月6日［月］／11月17日［月］
午前11時—午後6時
土・日・祝日休館
入場無料、予約不要
SAGA-BON
[Exhibition] Keio Museum Commons × Iinumakannon Enpukuji
The Temptation of Saga-bon:
Dreams and Devotion in Exquisite Printed Books
Sep. 30 [Tue.]–Nov. 28 [Fri.], 2025 | 11:00–18:00 | Admission free. No booking required.
Closed on Saturdays, Sundays, and public holidays
Weekend openings: Oct. 4 [Sat.], Nov. 15 [Sat.] / Temporary closures: Oct. 6 [Mon.], Nov. 17 [Mon.]

「慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺　嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」が9月30日（火）に開幕しました。
世界有数の嵯峨本の所蔵数を誇る、千葉県銚子市・飯沼観音圓福寺の多彩なコレクションを中心に、慶應義塾が所蔵する貴重な蔵書も加えて、その美しさや面白さを実感いただくとともに、いまだに謎多き嵯峨本をめぐる研究の最前線をご紹介いたします。
今週10月4日（土）は土曜特別開館も開催。ぜひお越しください。

KeMCoの近況

【開幕】慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

まぼろしの豪華活字本の実像に迫る展覧会

日本の書物史に燦然と輝く美麗活字版本「嵯峨本」の、世界有数の貴重なコレクションが慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）にて“揃い踏み”！展示室を埋め尽くすように並ぶ嵯峨本の数々は、まさに圧巻です。膨大な時間と高度な技術を惜しみなく注いで作られた、豪華絢爛な嵯峨本の世界をぜひご堪能ください。

慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢
会期｜2025年 9月30日（火）－11月28日（金）
特別開館｜ **10月4日（土）**、11月15日（土）
臨時休館｜ 10月6日（月）、11月17日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要

主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、飯沼観音圓福寺
協力｜慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫、慶應義塾大学三田メディアセンター
共同企画｜佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）
企画協力｜佐々木康之（文学部 准教授）

関連プログラム

展覧会に関連したプログラムを各種予定しています（すべて参加無料、事前予約制）。
各プログラムは事前申し込みが必要です。ウェブサイトをご確認の上、お申込みください。

シンポジウム「飯沼観音圓福寺と嵯峨本」
お申込みはこちら⇒Peatix（外部サイト）**残席僅少**
日時｜10月4日（土）13:30 ～17:00
場所｜三田キャンパス東館8階ホール
登壇者｜平幡照正（飯沼山 圓福寺　飯沼観音 住職）
　　　　高木浩明（近畿大学文芸学部 非常勤講師）

小秋元段（法政大学文学部日本文学科 教授）
佐々木孝浩（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 教授）

トークイベント「嵯峨本の誘惑」
お申込みはこちら⇒ウェブサイト
日時｜11月27日（木）18:15 ～
ゲスト｜松本久木（松本工房 デザイナー）
佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）

ギャラリートーク
展覧会共同企画者によるギャラリートークを行います。以下の日時でウェブサイトにてお申込み受付を開始します。
日時｜①10月20日（月）14:00－14:45　**満員のため受付終了**
②11月15日（土）　〃　（申込受付10月15日（水）正午から）
③11月28日（金）　〃　（申込受付10月28日（火）正午から）
話者｜佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）

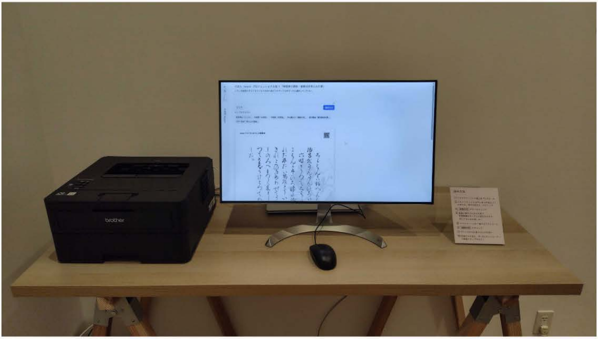
その他、展覧会に関連したプログラムを開催いたします。情報は随時ウェブサイトで公開いたします。

嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

飯沼山 圓福寺　飯沼観音 住職　平幡照正様にご来館いただきました

「慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺　嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」の開催にあたり、貴重な作品のご出品の他、多大なご協力とご支援を賜りました飯沼山 圓福寺　飯沼観音 ご住職の平幡照正様に、開幕初日に展覧会をご覧いただきました。本展共同企画者の斯道文庫・佐々木孝浩教授が解説いたしました。

ご寄付のお願い



古活字画像を用いて現代日本語テキストを描画するプログラム「そあん（soan）」
展覧会とのコラボレーションを通し、人文情報学の研究に触れられる機会も提供しています

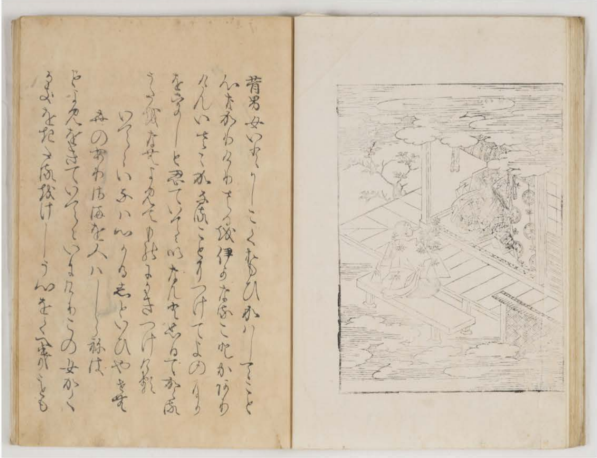
KeMCoでは大学の貴重な文化コレクションを公開する企画展覧会を年に4回開催しています。展覧会は、たくさんの方に何度でも作品を見ていただくために、すべて無料で公開しています。
一方で、物価高騰の中で、展覧会開催の経費は増大しています。
KeMCoでは、大学ミュージアムとして、誰もが文化にアクセスできる社会を支えるべく、みなさまのご支援を得て、現在のありかたを継続していきたいと考えています。
KeMCoの展覧会活動の継続のために、みなさまからの温かいご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳細とご寄付の方法は以下ウェブページをご覧ください。
皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

展示室より、推しモノ #41

Feedback



作品no.16
伊勢物語 袋綴装 2 巻存上 1 冊 模嵯峨本古活字第2種甲古活字 〔慶長元和頃〕刊 飯沼観音圓福寺蔵

今回の展示会の中心は14点もある「嵯峨本伊勢物語」類の一群であり、その中の目玉が展示番号9番であることは疑いありません。嵯峨本の製作者と考えられる角倉素庵と関係があった尾張藩祖徳川義直の、生母相応院の旧蔵と伝えられ、ニューヨークのコレクターの所蔵となり、その後オークションで日本に買い戻されたという本なのですから。ですが、心情的に推したいのは、16番の三井家旧蔵で上巻のみの１冊本です。この本は当初19番や20番と同じく、活字で印刷したものを裏返して版木に貼り付けて作られた、複製的な本かと思い込んでいました。今年の1月に、ケンブリッジ大学図書館のみに存する、「嵯峨本伊勢物語」を模した新種の活字版の３度目の閲覧をしている最中に、同版本の上冊であると気付きました。下冊があれば末尾の特徴で簡単に判断できるのですが、上冊のみなのでなかなか気づけなかったのです。研究者としては苦い思い出のある本ではありますが、挿絵の印刷の拙劣さなどを見ていると、なんとも憎めない存在なのです。活字本を活字本で真似るということは、版木で真似るのよりもずっと面倒なことのはずです。完全にそっくりではありませんが、よく頑張っていると思います。ケースも独立していますので、努力の様子を是非観察してみてください。

佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）

空き地

本ニュースメールでもたびたびご紹介している、note不定期連載「ケムコ！ふしぎ発見！」。南太平洋はラロトンガ島での調査のもようをレポートする、新連載をご紹介します。

無人島に持っていくとしたら何を持っていく？」──誰しも一度は考えたことがある問いではないでしょうか。枕？薬？それともスマホ？　もちろんこの問いに唯一の答えはありません。けれども、太平洋地域の中でもとりわけ環境条件の厳しいサンゴ礁の島々に目を向けると、この問いはかつてカヌーで渡った人々にとっては現実的かつ生死を分ける重要な問題であったはずです。

無人島ではないものの、筆者である学生スタッフ大太も同様、毎年8月になると「島に何を持っていくか」を考える立場にあります。初めての海外調査となった昨年のプカプカ環礁ではさまざまな物を持参しましたが、いざ役に立ったのはごくわずか。1000年前にまだ見ぬ島へと渡った島民は、勇敢さだけでなく、到着後の生活を見据えた高度な管理能力を備えていたに違いないとそれ以来感じるようになりました。

そして今年。昨年の経験を踏まえ、忘れ物は無いと自信を持って臨んだ3週間のラロトンガ島での調査。しかし、予想以上の気温の低さに長袖を持って来なかったことを激しく後悔しました。「備えていても憂いあり」。忘れ物もまた旅の成果の一つなのかもしれません。おそらく先史時代の島民も、小さな失敗の積み重ねから荷物の知恵を磨いていったのでしょう。

フィールド調査は毎度新しい発見の連続です。その一端を綴った「罪な奴だぜパシフィック」を現在KeMCo公式noteにて配信しています。ぜひご覧ください。

大太瑛吉（KeMiCo）

KeMCo note「罪な奴だぜパシフィック」

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

SHOW-CASE PROJECT Extra-2　冨井大裕　接点の都合

10月14日（火）～12月19日（金）
会場：慶應義塾大学アート・センター

2025年度秋季企画展「北沢楽天と近代日本──福澤諭吉、MANGAの扉をひらく──」
10月16日（木）～12月13日（土）
会場：福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2025年11月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan